

令和3年度認定

【計画名:兼六園周辺文化の森地域計画】

①計画目標の達成状況

目標項目名(単位)	R3			R4			R5		R6		R7	
	目標	実績	達成率	目標	実績	達成率	目標	実績	目標	実績	目標	実績
来訪者数(千人)	2,900	1,444	50%	3,000	2,337	78%	3,150		3,300		3,480	
来訪者数(訪日外国人)(人)	47,400	2,415	5%	50,700	16,644	33%	54,200		57,900		61,600	
来訪者の満足度(%)	85	94	111%	90	82	91%	95		95以上		95以上	
来訪者の満足度(訪日外国人)(%)	85	100	118%	90	40	44%	95		95以上		95以上	

②計画目標の達成状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者数について、R4年度はR3年度と比較すると、約60%増となった。要因としては、R4年度は文化施設が年間通して通常営業できたことや、コロナ禍の行動制限の緩和により、観光客が回復傾向にあることなどが考えられる。 しかし、R4年度の来訪者数はコロナ禍前の水準(R1年度:2,926千人)までは回復しておらず、目標値を達成することはできなかった。 来訪者の満足度については、目標を達成できた施設と、達成できなかった施設があった。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> R4年の県内の観光入り込み客数は、約1,825万人であり、コロナ禍前のR1年比では約7割となっている。R4年度の拠点施設の来訪者数は2,337千人で、R1年度の2,926千人の約8割と、県内の観光入り込み客数の回復率以上の水準となっており、今後さらなる回復が期待できる。 来訪者の満足度について、拠点施設のなかには、R3年度の数値を上回った施設もあり、事業の成果が現れているといえるが、R3年度の数値を下回った施設については、事業の見直し等により、施設のさらなる満足度向上につなげる必要がある。
--

③計画で取り組んだ事業の進捗状況

事業番号	事業名	R3	R4	R5	R6	事業類型ごとの実績額
事業1-①	地域の文化資源を活用した魅力ある展覧会開催事業	地域の文化資源を活用した展覧会を開催	地域の文化資源を活用した展覧会を開催			50.9百万円
事業1-②	VR技術を活用した文化資源の理解促進事業	—	VRシアターを整備し、VRコンテンツを2点の制作			
事業1-③	高精細画像を活用した観覧の充実・整備事業	所蔵作品の紹介のための「3D作品鑑賞システム」への追加コンテンツ制作	所蔵作品の紹介のための「3D作品鑑賞システム」への追加コンテンツ制作			
事業1-④	スマートフォン用ARアプリを活用した文化資源の理解及び回遊促進事業	ARアプリ及びAR展示コンテンツを整備	ARアプリ及びAR展示コンテンツを整備			
事業1-⑤	文化資源の理解促進・展示機能強化事業	金沢21世紀美術館で随時整備	県立美術館、金沢21世紀美術館で所蔵品のアーカイブ化を実施			
事業1-⑥	文化資源を活用した工芸文化の魅力発信事業	講演会・ワークショップを実施	講演会・ワークショップを実施			
事業1-⑦	文化資源を活用した建築文化の魅力発信事業	建築ガイドの養成、レトロ建築見学会、HPの作成等を実施	建築ガイドの養成、レトロ建築見学会・アーキテクチャーツアーを開催			
事業1-⑧	文化資源を活用した夜の賑わい創出事業	夏頃実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	兼六園及び文化施設が連携し、同時期に夜間開館を実施			
事業1-⑨	展示情報等の多言語化推進事業	開催した展覧会の出品作品等を多言語化し、スマホのアプリで解説	開催した展覧会の出品作品等を多言語化し、スマホのアプリで解説			
事業1-⑩	インフォメーションサービス事業	金沢21世紀美術館でウォークスルー動画を製作	YouTube上で関係者向けに公開			
事業1-⑪	ミュージアムツーリズム事業	—	旅行会社と連携し、文化観光をテーマとしたモニターツアーを実施			
事業2-①	受付サービスのデジタル化推進事業	キャッシュレスメニューの充実化及びデジタルチケット整備	キャッシュレスメニューの充実化及びデジタルチケット整備			2.0百万円
事業2-②	相互割引による展覧会誘客促進事業	相互割引制度を実施	相互割引制度を実施			

事業3-①	近隣商店街等と連携した地域活性化推進事業	中心市街地の回遊性向上策を検討	中心市街地の回遊性向上策を検討			
事業3-②	高付加価値体験を提供する滞在型コンテンツ造成事業	金沢21世紀美術館で高付加価値化促進事業(文化庁委託)を実施	ナイトミュージアムを実施			—
事業4-①	訪日外国人に向けた着地型情報整備事業	—	—			
事業4-②	兼六園周辺文化の森の一体的な情報発信事業	HP・リーフレット等で一体的な広報を実施	HP・リーフレット等で一体的な広報を実施			—
事業5-①	県立美術館展示室照明の改修事業	—	延期(県有施設LED化計画により、R7整備予定)			
事業5-②	県立歴史博物館のエレベーター改修事業	—	—			
事業5-③	兼六園周辺文化の森紹介ジオラマ改修事業	—	ジオラマを最新のものに改修			—
事業5-④	建築文化レガシー継承事業	鈴木大拙館の改修工事計画を策定	鈴木大拙館の改修工事実施設計を作成			
各年度ごとの実績額→		4.2百万円	48.7百万円			52.9百万円

④事業の進捗状況に関する分析・評価

<p>(分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画記載の事業は、概ね計画通り進んでいる。 特に、拠点施設である県立美術館においては、事業1-②として、R4年度に国宝等の名品をVRで紹介するシアターを整備するとともにコンテンツを2本製作し施設の魅力増進を図った。 また、R4年度からは新たに、事業1-⑩として、旅行会社と連携して文化観光をテーマとしたモニターツアーを実施し、エリア内の施設の周遊を促すとともに、旅行商品造成につなげた。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で施設の休館やイベントの中止が余儀なくされたR3年度と比較して、概ね計画通りに事業を進めることができた。 「文化資源の総合的な魅力の増進に関する事業(事業1)」 「利便の増進に関する事業(事業2)」等の成果として、来訪者数の回復につながったと考えられる。 来訪者の満足度について、拠点施設のなかには、R3年度の数値を上回った施設もあり、事業の成果が現れているといえるが、R3年度の数値を下回った施設については、事業の見直し等により、施設のさらなる満足度向上につなげる必要がある。
--

⑤拠点施設の要件に関する取組状況

文化観光拠点施設名 要件	石川県立美術館	石川県立歴史博物館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化資源を活用した魅力ある展覧会の開催 秋には、県立能楽堂50周年を記念した企画展「加賀宝生のすべて一能面と能装束一」を開催し、県立能楽堂の能楽公演や金沢能楽美術館の展覧会との相互割引を行うなど、地域一体で「能楽」をPRした。 文化資源を活用した地域の魅力発信 工芸分野の魅力発信として、地域内の文化施設と連携し、学芸員の解説付きで展示を巡るツアーを開催した。建築文化の魅力発信としては、毎週土日に地元ガイドによる建物見学会を開催したほか、アーキテクチャー・ツーリズムを開催した。また、夜の賑わい創出として、特別名勝兼六園や周辺施設と時期を合わせ夜間開館を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化資源を活用した魅力ある展覧会の開催 「大加州刀展」(4/28-6/26)では、約100振の刀剣や刀装具を展示するとともに、スマホで人気アニメ声優による音声ガイドを利用できる仕組みを導入するなど、施設への集客力を高める企画を行った。 文化資源を活用した地域の魅力発信 建築文化の魅力発信として、毎週土日に地元ガイドによる建物見学会を開催したほか、アーキテクチャー・ツーリズムを開催した。また、夜の賑わい創出として、特別名勝兼六園や周辺施設と時期を合わせ夜間開館を行った。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介	8Kの高精細画像など最先端の映像技術を活用し、国宝の「色絵雉香炉」の制作工程などを再現する映像や、本県の美術・工芸文化の歴史を紹介する映像を上映するVRシアターを整備した。	「大加州刀展」(4/28-6/26)では、スマホで人気アニメ声優による音声ガイドを利用できる仕組みを導入した。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介	VRシアターで放映する映像コンテンツについて、観光庁の「How To 多言語解説文整備」や「地域観光資源の英語解説文作成のためのライティングスタイルマニュアル」等に基づき、外国人目線で文化資源の魅力が伝わるよう多言語整備した。また、観光庁の「多言語解説整備事業」を活用し、建物や所蔵品に係る解説文の多言語化を進め、外国人観光客が作品の背景やストーリーの理解を深められるよう取り組んだ。	観光庁の「多言語解説整備事業」を活用し、建物に係る解説文の多言語化を進め、外国人観光客が作品の背景やストーリーの理解を深められるよう取り組んだ。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会の一員として、石川県や金沢市、周辺施設と連携し、建築文化の魅力発信や、夜の賑わい創出、展覧会の相互割引、共同広報等に取り組んだ。 また、石川県観光連盟が主催する「いしかわ旅行商品プロモーション会議」において、全国の旅行会社に対し、当エリアのレトロ建築の魅力をPRしたほか、エクスカージョンを行った。	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会の一員として、石川県や金沢市、周辺施設と連携し、建築文化の魅力発信や、夜の賑わい創出、展覧会の相互割引、共同広報等に取り組んだ。 また、石川県観光連盟が主催する「いしかわ旅行商品プロモーション会議」において、全国の旅行会社に対し、当エリアのレトロ建築の魅力をPRしたほか、エクスカージョンを行った。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析	利用者アンケートにより、満足度等のデータを把握しているほか、県市観光部局による観光動態調査等の調査結果の提供を受け、施設を取り巻く観光客の動向等について状況を把握している。	利用者アンケートにより、満足度等のデータを把握しているほか、県市観光部局による観光動態調査等の調査結果の提供を受け、施設を取り巻く観光客の動向等について状況を把握している。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及びKPIの設定・PDCAサイクルの確立	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会において、事業の見直し・検討を行った。文化観光推進事業者等から改善に向けた指摘をもらう機会を設け、PDCAサイクルを効果的に進めた。	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会において、事業の見直し・検討を行った。文化観光推進事業者等から改善に向けた指摘をもらう機会を設け、PDCAサイクルを効果的に進めた。

要件	文化観光拠点施設名	金沢 2 1 世紀美術館	金沢能楽美術館
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化資源を活用した魅力ある展覧会の開催 「コレクション展 1 うつわ」では、うつわをテーマに現代美術におけるうつわにスポットをあてた展示を行った。 「コレクション展 2 Sea Lane -島々への接続-」では、沖縄復帰50周年に関連して、現代美術の側面から沖縄について、そして歴史的にも沖縄と海洋で交流のあったアジア地域やオセアニア地域特有の島嶼性という観点に着目した展示を行った。 文化資源を活用した地域の魅力発信 夜の賑わい創出としてナイトミュージアム事業を実施したほか、夜間開館を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化資源を活用した魅力ある展覧会の開催 秋には、県立能楽堂50周年を記念して特別展「加賀宝生と中野家」を開催し、能楽公演や県立美術館の能楽に関連した展覧会との相互割引を行うなど、地域一体で「能楽」をPRした。 文化資源を活用した地域の魅力発信 夜の賑わい創出としてナイトミュージアム事業を実施したほか、夜間開館を行った。
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		昨年度制作したウォークスルー動画 6 本について、令和 4 年 3 月末に YouTube 上で関係者向けに公開した。	令和 2 年度より公開している AR アプリを使った能面の展示補助解説を引き続き行った。
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		昨年度制作したウォークスルー動画 6 本について、テロップを日英表記とした。	6 か国語の館内案内リーフレットを設置した。(英語、中国語(簡・繁)、韓国語、フランス語、イタリア語) 館内展示物キャプション等に英語表記を追加した。 能に関する冊子(外国語版)を販売した。
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会の一員として、石川県や金沢市、周辺施設と連携し、展覧会の相互割引、共同広報等に取り組んだ。	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会の一員として、石川県や金沢市、周辺施設と連携し、展覧会の相互割引、共同広報等に取り組んだ。
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		利用者アンケートにより、満足度等のデータを把握しているほか、県市観光部局による観光動態調査等の調査結果の提供を受け、施設を取り巻く観光客の動向等について状況を把握している。	利用者アンケートにより、満足度等のデータを把握しているほか、県市観光部局による観光動態調査等の調査結果の提供を受け、施設を取り巻く観光客の動向等について状況を把握している。
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及び K P I の設定・P D C A サイクルの確立		兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会において、事業の見直し・検討を行った。文化観光推進事業者等から改善に向けた指摘をもらう機会を設け、P D C A サイクルを効果的に進めた。	兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会において、事業の見直し・検討を行った。文化観光推進事業者等から改善に向けた指摘をもらう機会を設け、P D C A サイクルを効果的に進めた。
要件	文化観光拠点施設名	国立工芸館	
・文化資源の魅力に関する情報を適切に活用した解説・紹介		<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある展覧会の開催 「ジャンルレス工芸展」では、あえて工芸と括弧に「デザイン」、 「現代美術」という二つの視点で展覧会を行った。 文化資源を活用した地域の魅力発信 工芸文化の魅力発信として、5/8に、2名の人間国宝による対談形式の講演会を開催したほか、工芸文化の魅力発信として、日曜日(毎月 2 回)に地元ガイドによる建物見学会を開催した。また、夜の賑わい創出として近隣施設と夏の時期に合わせて夜間開館を行った。 	
・情報通信技術の活用を考慮した適切な方法を用いた解説・紹介		<p>来館者への作品鑑賞の更なる充実を図るため、国立工芸館所蔵の以下 2 作品について、高精細画像(8K)「3 D 作品鑑賞システム」への追加制作を行うとともに、併せて作品解説並びに多言語化データを追加し実装・公開を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 輪花文綺黒檀印箱(りんかもん しまこくたん いんぼこ) ／ 秋山逸生(あきやま いっせい) 截金菜華文小筥(きりかね ののはなもん こぼこ) ／ 齋田 梅亭(さいた ばいてい) 	
・外国人観光旅客の来訪の状況に応じて、適切に外国語を用いた解説・紹介		令和 4 年度に開催した展覧会の出品作品等をスマホから QR コードを読み取ることで解説を聞きながら鑑賞出来るサービスを実施。外国人来館者へのサービスとして同サービスの多言語化(英語・中国語・韓国語)を行い、鑑賞の一助となるよう充実を図った。	
・文化観光の推進に関する多様な関係者との連携体制の構築		兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会の一員として、石川県や金沢市、周辺施設と連携し、建築文化の魅力発信や、夜の賑わい創出、展覧会の相互割引、共同広報等に取り組んだ。	
・文化観光の推進に関する各種データの収集・整理・分析		利用者アンケートにより、満足度等のデータを把握しているほか、県市観光部局による観光動態調査等の調査結果の提供を受け、施設を取り巻く観光客の動向等について状況を把握している。	
・文化観光の推進に関する事業の方針の策定及び K P I の設定・P D C A サイクルの確立		兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会において、事業の見直し・検討を行った。文化観光推進事業者等から改善に向けた指摘をもらう機会を設け、P D C A サイクルを効果的に進めた。	

⑥観光関係者（DMOなど）からの評価

評価者	評価内容
石川県観光連盟	兼六園周辺文化の森への観光客の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値は引き続き下回っているものの、県立美術館でのVRコンテンツ整備や、旅行会社と連携した文化観光をテーマとしたモニターツアーなど本計画に基づいた新たな取組みの実施により、観光客向けの新たな魅力の創出や誘客促進に一定の効果があった。

⑦今後の改善の方向性

- ・R5年度は、県立美術館と国立工芸館の2館共同で「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展」を秋の国民文化祭のメイン事業として開催するとともに、県立歴史博物館においては、二条城や名古屋城等の障壁画を一堂に会する「御殿の美展」を開催することとしており、これらの大規模な展覧会にあわせて、皇居の文化を紹介するイベント等を効果的に開催し、来訪者数の増加と満足度の向上を図っていく。
- ・また、R5年度は新たに、県立美術館及び県立歴史博物館において、事業1-⑤「文化資源の理解促進・展示機能強化事業」として、スマホによる展示解説システムを導入し、文化資源の理解促進を図ることで、来訪者の満足度向上につなげる。